

函南町軽井沢メガソーラー関連のマスコミ報道

2020/2/13

メガソーラー反対（伊豆日日新聞 2019年6月24日版） ダイヤランド区民の会 組織立ち上げ来月集会	5
ただいま！テレビ「函南にメガソーラー計画 反対署名」 (テレビ静岡 2019年7月3日放送)	6
静岡県函南町のメガソーラー計画、反対住民が署名提出 (日本経済新聞 2019年7月3日版)	6
函南のメガソーラー計画、住民が反対署名提出 (朝日新聞デジタル 2019年7月4日版)	7
知事へ反対署名提出（伊豆日日新聞令和元年7月4日） 住民の会「災害の危険高い」	8
とびっきり！しずおか 特集15分（静岡朝日テレビ 2019年7月5日放送） 函南に新たなメガソーラー計画 小学校など近く住民は反対運動	9
おはよう静岡「函南町「メガソーラー」県が開発許可」（NHK2019年7月11日放送） FRONT zero「メガソーラー反対集会」(Daiichi-TV 2019年7月14日放送)	10
仁科町長「不同意貫く」（伊豆日日新聞 2019年7月20日版） 全協で方針強調、理解訴え 「住民パワーも必要になる」	11
区長ら「不同意」訴え 柿沢川治水組合（伊豆日日新聞 2019年7月30日版） 柿沢川治水組合 町と議会へ陳情、請願	12
函南メガソーラー「反対姿勢 明確に」（伊豆日日新聞 2019年8月1日版） 軽井沢区・ダイヤランド 署名6259人、町に陳情	13
（湧水）函南・軽井沢のメガソーラー計画（静岡新聞 2019年8月7日版） 業者に明確な対応要求を	14
函南メガソーラー「条例適用難しい」なぜ？（伊豆日日新聞 2019年8月14日版） 軽井沢区とダイヤランド 町に質問状提出	15
函南でメガソーラー反対集会（静岡新聞 2019年8月19日版） 住民「条例適用は可能」	16
役員「条例適用は可能」（伊豆日日新聞 2019年8月19日版） 函南メガソーラー考える会 住民が2回目の集会	16
知事に許可取消し要望（伊豆日日新聞 2019年8月20日版） 反対住民が上申書提出	17
メガソーラー計画 質問に回答（静岡新聞 2019年8月31日版） 函南町「条例適用できず」	18

函南町メガソーラー住民質問状に回答（伊豆日日新聞 2019年8月31日版） 「条例、遡及適用できない」	18
町が環境コンサル活用へ（伊豆日日新聞 2019年9月4日版） 県アセスメント条例「対象事業になる」 メガソーラー特別委設置を可決 町議会開会 請願2件を付託	19
函南のメガソーラー計画（静岡新聞 2019年9月11日版） 町議会も反対決議へ	20
函南・メガソーラー町議会特別委員会（伊豆日日新聞 2019年9月11日版） 「議会での反対」「不同意」住民請願2件を採択	21
「議会での反対」「不同意」請願（伊豆日日新聞 2019年9月14日版） 町議会、全会一致で採択	22
メガソーラー計画で函南町議会（静岡新聞 2019年9月14日版） 反対、不同意決議文作成へ	22
条例適用見解など質問（静岡新聞 2019年9月20日版） 函南・軽井沢区 ダイヤランド区 メガソーラー巡り町に	23
函南・軽井沢メガソーラー「納得できる説明を」（伊豆日日新聞 2019年9月14日版） 地元区長ら町に質問・要望書	23
住民団体が街頭運動（静岡新聞 2019年10月1日版） 函南軽井沢のメガソーラー 町条例全面適用訴え	24
あの函南町搖るがす「危ないメガソーラー」（FACTA 2019年10月号） 「元地上げ屋」の開発業者が脆い急傾斜地で太陽光発電所計画。規制条例も適用外に。	25
メガソーラー森林開発（伊豆日日新聞 2019年10月1日版） 函南・軽井沢地区にパネル10万枚計画	26
函南町議会 建設反対決議を可決（伊豆日日新聞 2019年10月5日版） 軽井沢計画検討委「環境、景観の悪化懸念」 仁科町長にう文書提出「大変重く受け止める」	27
メガソーラー反対決議案など可決（静岡新聞 2019年10月5日版） 函南町議会定例会	27
台風19号被災「放水路いかに重要か」（伊豆日日新聞 2019年10月21日版） 川勝知事「基本的には反対」函南のメガソーラー計画	28
函南メガソーラー 知事「基本的に反対」（静岡新聞 2019年10月21日版） 法規制、国へ働きかけ 「中止のためのアイデアなし」函南町長が見解	29
函南メガソーラー計画（伊豆日日新聞 2019年10月24日版） 市民が建設予定地視察	29
反対署名1万3000人（静岡新聞 2019年10月26日版） 考える会が知事宛て提出	30

函南メガソーラー署名 1.3 万人分提出（伊豆日日新聞 2019年10月26日版） 反対団体、副知事に	30
「町条例適用 審議を」（静岡新聞 2019年11月6日版） 地元区 函南議会に請願書提出	31
軽井沢区の反対意向賛同（静岡新聞 2019年11月8日版） メガソーラー計画 函南町区長会 署名提出	32
町区長会が反対に賛同（伊豆日日新聞 2019年11月8日版） 4462世帯の署名添え町に提言	33
町の反対要望 県に提出（伊豆日日新聞 2019年11月15日版） 難波副知事「地域全体の意向大切」	34
不適切な事務処理（伊豆日日新聞 2019年11月28日版） 函南町が職員ら4人処分	35
丹那で町長と語る懇談会（伊豆日日新聞 2019年11月30日版） メガソーラーに意見	35
「森を守れ」移住者からうねり（朝日新聞 2019年12月1日版） 函南・別荘地近くのメガソーラー計画	36
メガソーラー請願など付託（伊豆日日新聞 2019年12月3日版） 函南議会が開会	37
「条例改正考えていない」（伊豆日日新聞 2019年12月5日版） 軽井沢メガソーラーで町答弁	37
函南町議会総務建設委（伊豆日日新聞 2019年12月7日版） 軽井沢メガソーラー建設 不同意の請願不採択	38
メガソーラー建設阻止を（伊豆日日新聞 2019年12月14日版） 共産党函南委 町に予算要望	38
トーエネック地元住民と初の面会（伊豆日日新聞 2019年12月17日版） 函南・軽井沢メガソーラー「法令守り事業進めたい」	39
メガソーラーの反対住民と面会（朝日新聞 2019年12月17日版） 函南 売電計画の業者	40
函南のメガソーラー計画（朝日新聞 2019年12月20日版） 伊豆の国市長が反対を明言	40
SBSニュース「函南町長らを県警に告発」（SBSテレビ 2019年12月20日放送） 町内で計画中のメガソーラー建設めぐり ウソの公文書作成か	41
メガソーラーで函南町長を告発（朝日新聞 2019年12月21日版） 虚偽の日付文書掲示	41
太陽光発電反対派 函南町長らを告発（静岡新聞 2019年12月21日版） 虚偽公文書作成疑い	41

函南町長らを告発（伊豆日日新聞 2019年12月21日版） 虚偽公文書の作成・行使疑い	42
函南の太陽光に沼津市長が懸念（朝日新聞 2019年12月26日版） 町長に協議求める考え方	43
売電企業が住民と面談（静岡新聞 2020年1月25日版） 質問に回答「理解得たい」	44
メガソーラーで法令違反を否定（朝日新聞 2020年1月25日版） 函南 住民と事業者交渉	45
売電事業者、住民と面会（伊豆日日新聞 2020年1月25日版） 函南・軽井沢メガソーラー	45
「建設阻止の目標は同じ」（伊豆日日新聞 2020年2月11日版） 函南メガソーラー仁科町長明言	46
メガソーラー 町長が反対意思（朝日新聞 2020年2月11日版） 函南町民さんに示す	46
メガソーラー建設反対住民（静岡新聞 2020年2月11日版） 条例適用求め町に質問状	47

メガソーラー計画の是非を問う会合（伊豆日日新聞 2019年6月24日版）

(1) 第12894号 (2019年6月24日)



会合であいさつする吉原会長＝函南町
平井のダイヤランドホール

メガソーラー反対
ダイヤランド
区民の会 組織立ち上げ来月集会

函南町の南郷がダイ
ヤランドの貿易会「ダ
イヤランド区民の会」
(吉原英夫会長、85
0出席)は23日、「メ
ガソーラー(大規模太
陽光発電施設)計画の
是非を問う会合」をダ
イヤランドホールで役員説明

函南で役員説明

題のメリットとデメリ
ットを正しく把握する
必要がある」とあいさ
つた。

同会によると、ダイ
ヤランドの隣接地では
太陽光パネル5819
枚を設置する農業用の
メガソーラー、駒井沢
地区では太陽光パネル
10万~920枚を設置
する計画が民間により
何の説明もなく決行さ
れようとしている。ま
ずは多くの人がこの問



令和元年6月24日

ただいま！テレビ「函南にメガソーラー計画 反対署名」（テレビ静岡 2019年7月3日放送）



International 設定 ログイン 誉め込み

日本経済新聞 2019年7月4日 (木) 検索 記事 株価

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マナー ライフ
ストーリー 今週 朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウォッチ Myニュース

静岡県函南町のメガソーラー計画、反対住民が署名提出

南関東・静岡 2019/7/3 20:14

保存 共有 印刷 対応 Twitter Facebook その他

静岡県函南町の軽井沢地区で計画されている大規模太陽光発電施設（メガソーラー）について、反対する住民らが3日、静岡県庁を訪れ、森林法に基づく林地開発許可を出さないよう求める署名を川勝平太知事あてに提出した。住民代表の山口雅之氏は「住宅地や小学校に近く、開発により土砂崩れなどの危険性が高まる」と訴えた。

署名数は2225筆。県や函南町によると事業者はブルーキャピタルマネジメント（東京・港）。65ヘクタールの土地に出力40メガワットの発電施設を建設する。

事業者から林地開発許可申請が2018年10月末に提出され、県は19年3月に森林審議会を開催した。5月29日付で仁科喜世志函南町長からの意見を受けており、県は標準的な審査期間の40日以内に開発許可の判断を出す予定。

アクセスランキング

- 日韓企業とも身構え 結婚式4日に発動
- リセッタ金融営業(上) 「脱ノルマ」いばらの道
- ヤフー、「信用スコア」炎上で扱ねた信用

函南のメガソーラー計画、住民が反対署名提出（朝日新聞デジタル 2019年7月4日版）

朝日新聞 DIGITAL

トップニュース スポーツ カルチャー 特集・連載 オピニオン ライフ 朝夕刊紙面・be MY朝デジ

新着 天声人語 社会 政治 経済・マネー 國際 テック&サイエンス 環境・エネルギー 地域 朝デジスペシャル 写真・動画

朝日新聞デジタル > 記事

静岡 2千万円問題の核心は
「老後に2千万円の蓄えが必要」議論呼んだ報告書をおさらい。

静岡 朝日の無料ニュース デジタル版

静岡）函南のメガソーラー計画、住民が反対署名提出

有料記事 阿久沢悦子 2019年7月4日03時00分

シェア フィード ブックマーク スクラップ メール 印刷

0



静岡県 函南町に建設が計画されているメガソーラーについて、反対する住民団体が3日、2225人分の署名を添えて土屋優行副知事に陳情した。建設場所は土砂災害の危険地域にあたり、近くに小学校があることなどから住民の不安は強い、としている。

事業者はブルーキャピタルマネジメント社（東京）。町に提出された事業計画によると、建設予定地は同町 軽井沢の山林約6.5ヘクタールで、発電容量は4万キロワット。既に10月21日に轟に林地開発許可申請が出されか。町からの慎重審査を求める

最小限にして無限大の
"平屋"ベース 1,017万円~
SPECIAL CAMPAIGN このサイトだけの 限定特典

往日情報

知事へ反対署名提出（伊豆日日新聞令和元年7月4日）

(1)

第12904号 (昭和58年3月22日第3種郵便物認可)

函南・軽井沢の
メガソーラー建設

知事へ反対署名提出

住民の会「災害の危険高い」



土屋副知事に提出した反対署名について説明する
吉原会長(右)ら=県庁(提供写真)

建設地域は防災マップでも明らかなよう
に、災害の危険が極めて高い。住民の不安や、
災害の恐れが完全に払う。

読者とも同行し「児童が書いた手紙と一緒に渡した。同会は「業者が建設を断念するまで署名活動を続ける」としている。

町によると同地区的太陽光発電（メガソーラー）計画は敷

とびっきり！しづおか 特集 15分（静岡朝日テレビ 2019年7月5日放送）



何もこの集落としての意見は
まとまっていない やつていいとか悪いとか



ブルーキャピタル
マネジメントHPより

ブルーキャピタルマネジメント

現時点で取材に対し回答なし



おはよう静岡「函南町「メガソーラー」県が開発許可」（NHK2019年7月11日放送）



FRONT zero「メガソーラー反対集会」（Daiichi-TV 2019年7月14日放送）



仁科町長「不同意貫く」（伊豆日日新聞 2019年7月20日版）

眞が積み上げて、古ってきた仕事の高さを評瀬英樹社長「月の中です。身には何にも「」である」と「希望があれば考えだ。」

ル=izu@izu-np.co.jp>

の部課長が県を訪れ、
許可条件の説明を受け
ると共に、「不同意の
意思決定は変わらな
い」と訴えた、と説明
した。

「住民パワーも
必要になる」

10月31日付で許可申請が提出され、町は5月に慎重審議を求める意見書を県に、土地利用事前協議に基づく「不同意決定」を事業者と、県に提出している。

石の汀が合経水蘿がのしし夏下を後宝出入こ殿ル目ア8が

函南・軽井沢地区
メガソーラー

仁科町長「不同意貫く」

全協で方針強調、理解訴え

西原町議会は19日、全員協議会を町役場で開いた。都内の事業者が軽井沢地区で計画画を進め、大規模太陽光発電施設（メガソーラー）を議題とし、町がこれまでの経緯と今後につ

開発許可申請について方針を説明。林地で、8日付で県が許可決定したのに対し、仁科喜田志町長は「不異意を貫く」と明言し、改めて町長としての立場と姿勢を強調した。

寧な説明を求めており、「状況が変わつておらず、住民の不安は払拭されていない」として、上で、「県が条件付で開発許可をした」としても、当該地や隣接地、下流域の同意を受けており、「議会としても、町の姿勢に理解をしてもらいたい」と伝えた。」「今後、法に対しても、住民パワーも必要になります」と述べ、全協では大きな問題があると考へた。

し夏下を後宝出

区長ら「不同意」訴え 柿沢川治水組合（伊豆日日新聞 2019年7月30日版）



函南メガソーラー「反対姿勢 明確に」（伊豆日日新聞 2019年8月1日版）

函南町軽井沢地区で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画をめぐり、地域住民を中心とした反対運動が広がっている。土砂災害の危険性が高まることが主な理由で、町も事業者に対して「不同意」の意思を示している。ただ、7月に県の林地開発許可が下りるなど、計画は着実に進行している。今後の動向を注視したい。

計画は事業区域面積65haに太陽光パネル10万200枚を設置し、想定年間発電量は5千万kWh以上。山間地に位置する建設予定地の下流域には、丹那小や住宅などが並ぶ。住民らは山林伐採によって保水力が低下することと、土砂崩れや土石流など災害の危険が高まるなど指摘する。住民団体「函南町軽井沢メガソーラーに反対する会」の吉原英文代表は、「事業者は住民への十分な説明をしていない。そうした状況の中で事業が進められるといふ」と不信感をあらわにする。

事業推進によって、景観破壊を懸念する声もある。

湧水

函南・軽井沢のメガソーラー計画

挙がっている。地元の観光関係者は「メガソーラーは田園風景にそぐわず、丹那のイメージを損ねないか心配。農村を目当てに訪れた観光客はどう思うか」と不安を隠さない。

同会が6月の発足以来続けていた署名活動では、3日現在で約7千人分の反対署名が集まつた。町や町議会には地元住民から陳情書、請願書が寄せられているという。

ただ、「不同意の姿勢を貫く」とする町が、事業に対しても影響力を發揮できるかは不透明だ。

だ。住民の間では、景観や環境との調和が取れなければ再生可能エネルギーの発電事業を認めないと指摘する。町条例の適用を求める声もあるが、町は取材に対し、10月1日施行の同条例を遡及（そきゆう）的に適用するのは困難との見解を示した。

太陽光発電は国策として推進されている事業だが、住民の安全が大前提であるべきだ。住民の間に不安が広がっている以上、県や町も事業者に対し明確な説明と対応を求める責任がある。

（三島支局・仲瀬駿介）

函南メガソーラー「条例適用難しい」なぜ？（伊豆日日新聞 2019年8月14日版）

(1) 第12943号 (昭和58年3月22日第3種郵便物認可)

伊

函南メガソーラー

「条例適用難しい」なぜ？

軽井沢区と町に質問状提出

函南町の軽井沢地区で、都内の事業者が計画を進めている大規模太陽光発電施設（メガソーラー）について、連名による「質問状」が13日、町に対し、連名による「質問状」を提出し、今月末までに文書での回答を求めた。

地元の軽井沢区の渡辺区長は、この日は渡辺区長ほか、区の役員ら7人が町役場を訪れた。渡辺区長は「軽井沢メガソーラー建設計画について仁科町長は『10月1日施行の条例適用が難しい』と新聞などで説明しているが、なぜ条例の適用が難しいのか住民はその意味が分からず困惑している」と、仁科喜世志町長に質問状を手渡した。質問内

函南町の軽井沢地区で、都内の事業者が計画を進めている大規模太陽光発電施設（メガソーラー）について、連名による「質問状」が13日、町に対し、連名による「質問状」を提出し、今月末までに文書での回答を求めた。

地元の軽井沢区の渡辺区長は、この日は渡辺区長ほか、区の役員ら7人が町役場を訪れた。渡辺区長は「軽井沢メガソーラー建設計画について仁科町長は『10月1日施行の条例適用が難しい』と新聞などで説明しているが、なぜ条例の適用が難しいのか住民はその意味が分からず困惑している」と、仁科喜世志町長に質問状を手渡した。質問内

役場

質問状を仁科町長に手渡す渡辺区長左二函南町

も連携して反対運動を広げていきたい」と語った。軽井沢区とダイヤランドは先月末、建設阻止に向けた町条例の適用などを求めた連名による「陳情書」を提出している。

回答を元に、今後の区の方向性を検討するとともに、町内の各区とともに、町内の各区とも連携して反対運動を広げていきたい」と語った。軽井沢区とダイヤ

る」と述べた。

渡辺区長は「質問の回答を元に、今後の区の方向性を検討するとともに、町内の各区とともに、町内の各区とも連携して反対運動を広げていきたい」と語った。軽井沢区とダイヤ

函南でメガソーラー反対集会（静岡新聞 2019年8月19日版）

函南でメガソーラー反対集会

住民「条例適用は可能」

函南町軽井沢の大規
模太陽光発電所（メガ
ソーラー）建設計画に
反対する住民集会が18
日、町農村環境改善セ
ンターで開かれた。事
業者に対し発電設備の
設置と発電事業に関
する町への届け出を
求める10月1日施行
の町条例について、住
民グループ「函南町の
メガソーラーを考える
会」のメンバーが「十
分適用できる」と訴え
た。

同条例が適用される
と事業者は事業計画に
ついて町長の同意を得
なければならず、不同
意になれば固定買い取
り制度に基づく売電許
可が取り消される可能
性もある。ただ、県は
7月に同事業にかかる
林地開発を条件付きで
許可し、町は「遡及（そ
する）という。

きゅう)的な条例の適
用は困難」との見方を
示す。

同グループは住民集
会で「林地開発と設
備の設置、発電事業は
別」とし、10月1日の
時点では設置工事が始
まっているなければ條
例の適用は可能との
見解。届け出を事業
者に求めるかどうかに
ついては「（仁科喜世
志）町長次第」と述べ
た。

同事業は山間地の65
haに太陽光パネル10万
枚を設置する計
画。町は条例の適用に
関する考え方について、
地元住民に文書で回答

役員「条例適用は可能」 住民が2回目の集会（伊豆日日新聞2019年8月19日版）

令和元年（2019年）8月20日（火曜日）(4)

函南メガソーラー

田方・三島 WIDE版

TAGATA MISHIMA WIDE

函南町の軽井沢地区（メガソーラー）を計画していることを受けて、反対する住民らが

知事に許可取り消し要望

反対住民が上申書提出

許可決定（7月8日付）について「判断に供するため、部下担当職員が作成した『林地開発調書』の重要な部分の記載に、重大な誤りがある」とした上で、「再考の上、許可を取り消してほしい」と求めている。

函南町長が訪れ、宮崎森林保全課長は「真摯（しんし）に受け止めてきちんと検討し、報告したい」と述べた。

反対住民らは「住んでいる人たちの命が懸かっている問題ぜひ、川勝知事には現場に足を運んで見てもらい、住民の声を聞いてもらいたい」と話した。

宮崎森林保全課長（左）に上申書を手渡す
反対住民の代表ら＝県庁 提供写真

メガソーラー計画 質問に回答 函南町「条例適用できず」（静岡新聞 2019年8月31日版）



メガソーラー住民質問状に回答「条例、遡及適用できない」（伊豆日日新聞 2019年8月31日版）



函南のメガソーラー計画

町議会も反対決議へ

函南町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画を巡り、同町議会は10日、計画反対の決議を求めた。地元住民らの請願について特別委員会で審議し、計画に対し、決議をすると全会一致で決めた。一方、事業者は計画の届け出を義務づける町条例（10月1日施行）の適用を町長に求める請願は不採択とした。

特別委は中野博議長。条例の適用については、除外全町議15人で構成し、「リスクの高い開発行為には同意できない」として反対多数となり、現実的に難しい」などとして反対多数となり、なった。

いずれの請願も9月定例会で改めて採決し、の意見が挙がった。町

(三島支局・仲瀬駿介)
補正予算案など
21議案を可決
函南町議会定例会
は10日、本会議を開

た上で、計画への不同意・反対の決議文を作成する方針。請願書は柿沢川流域の住民代表による治水組合と、地元の軽井沢区が町教育委員会に小永井博提出され、原案通り可決した。環境影響評価（アセスメント）の書類点検に同意した。之氏（61）を充てた人事案に同意した。精査に関する専門家への委託費2226万円や、町道の改良工事費7千万円などを盛り込んだ。

「議会での反対」「不同意」住民請願2件を採択（伊豆日日新聞 2019年9月11日版）

(1)

第12970号 (昭和58年3月22日)

函南・メガソーラーで
町議会特別委員会

「議会での反対」「不同意」 住民請願2件を採択

函南町軽井沢地区で、検討委員会を開いた。建設反対を訴える地元軽井沢区の建設が計画されている問題を受け、町議会9月例会は10日、設置した特別委員会（軽井沢メガソーラー建設計画）で開いた。建設反対を一方で、軽井沢区の請願にあつた「町条例案」の施行（10月1日）と同時に事業者へ適用する旨、「議会での反対」と「不採択」の部分については、不採択とした。

特別委員会は軽井沢メガソーラー建設計画に関する請願を審査するのが目的。今後、開会中の定例会本会議で予定している委員長報告を受け、採決する。

21議案を可決
函南町議会
予定に伴う工事請負
費、環境影響評価方法
書点検業務委託料など
2億5500万円を追
加する、本年度一般会
計補正予算など21議案
を原案通り可決した。
教育委員会委員の入
事では、任期満了に伴
い小水井博之さん(61)
＝肥田＝を新たに任命
した。

2019.0911
伊豆日日新聞

「議会での反対」「不同意」請願 町議会、全会一致で採択（伊豆日日新聞 2019年9月14日版）

函南・メガソーラー

町議会、全会一致で採択

「議会での反対」「不同意」請願

会期中に決議文報告

函南町議会9月定例会は13日、軽井沢地区で大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設が計画されている問題をめぐる議論が行われた。建設に伴う費用負担や、設置した特別委員会に付託された請願についての審査結果を報告した。特別委員会は「議会での反対」「不同意」決議を採択した。

町議会全員が反対・不同意決議に賛成した請願の採決=函南町役場議場

議について採決し、賛成した。今後、反対議員は、会期中に報告する見通し。

請願2件は、軽井沢区と柿沢川治水組合から出され、いずれも建設反対を訴えていた。特別委員会で「議会での反対」「不同意」を採択したが、同一趣旨を見たが、一括審査。採決では中野博議長を除く15人が賛成した。

一方、軽井沢区の請願書にあつた「町条例施行（10月1日）と同時に事業者へ適用するよう、町長に要請を求める項目については、賛成少数で不採択とし



メガソーラー計画で函南町議会 反対、不同意決議文作成へ（静岡新聞 2019年9月14日版）

メガソーラー計画で函南町議会 反対、不同意決議文作成へ

函南町議会9月定例会は13日、本会議を開いた。同町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設計画を巡り、議会として採択した。会期中に決議文を作成する方針。

議文を作成する方針。事業者に計画の届け出を義務づける町条例（10月1日施行）の適用を町長に求める請願は不採択とした。

「反対、不同意」の決議を求める住民からの請願2件を全会一致では、柿沢川流域の5地を固めた一方、町条例の適用については既に許認可申請が済んでいることから、選及（そきゆう）適用は困難」との声が上がつていた。

掲載写真を有料で提供
料で提供され
し込みは読
7月17日
5時×へ。
は、柿沢川流域の5地を固めた一方、町条例の適用については既に許認可申請が済んでいることから、選及（そきゆう）適用は困難」との声が上がつていた。

住民団体が街頭運動 函南軽井沢のメガソーラー 町条例全面適用訴え（静岡新聞 2019年10月1日版）



軽井沢区のメガソーラー建設設計画に対し、町条例の全面適用を求めて街頭運動を実施した住民

=函南町内

住民団体が街頭運動

函南軒井沢のメガソーラー町条例全面適用訴え
函南軒井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設設計画に反対する住民団体「町のメガソーラーを考える会」は30日、町長の同意なしに発電設備の設置や発電事業を行える

月1日施行）の全面適用を町に求める街頭運動を同町内で実施した。

同団体は、町が条例を適用した上で事業に對する不同意を国に通知すれば、売電許可が取り消されると主張した。一方、町は条例が義務づける届け出を「法令に基づく許可申請の前まで」と

ないとする町条例（10月1日施行）の全面適用を町に求める活動を同町内で実施した。

定めているため、既に県への林地開発許可申請を済ませた同事業には、維持管理計画の届け出を求めるなどの適用に限定されるとの見解を示している。

事務局長の吉原英文ダイヤランド区長は、「条例の一部適用は不自然。今後も全面適用を求めて声を上げていく」と話した。

成年後見支援センター開設

三島制度周知、活用へ助言

三島市は1日、市社会福祉会館に成年後見支援センターを開設する。認知症患者や知

あの函南町搖るがす「危ないメガソーラー」

NHKで2005年に放映された「絶対少年」というアニメがある。物語の舞台「神風町」は静岡県函南町がモデル。作品で描かれた丹那盆地に近い軽井沢地区は、約50世帯、百数十人が住むJR熱海駅から北西に約4キロほどの山あいの集落だ。

この地区に、太陽光発電所の計画が持ち上がった。約65ヘクタールの傾斜地に約10万枚のパネルを並べる大規模なものだ。この計画に対し、反対の声が日々増しに強まっている。

まず声を上げたのは南箱根ダイヤランドという別荘地の住民たちで、理由は危険だから。函南町は火山灰の積もった険しい地形で、現場は急傾斜地だ。

1921年、丹那トンネルが崩落し、33人が死亡。24、30年にも同様の事故が発生し、事故による犠牲者は67人に上った。

Blue Anxiety【不安な計画】

大量的の湧水が原因だったとされる。「あそこにメガソーラーを造るなんて、無謀な話」（地元関係者）。「絶対少年」の中でも、突如土砂崩れが起き、猫に導かれて逃げた住民が難を逃れるエピソードが出てくる。

7月14日に函南町農村環境改善センターで開かれた住民集会では、旗幟を鮮明にしていたかった軽井沢地区の区長が「お仲間に加えていただきたい」と反対を表明した。さらに函南町の仁科喜世志町長も、7月19日に行われた函南町議会で「不同意を貫く」と述べ、反対姿勢を示した。

発電所を計画したのは、不動産会社、ブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）だ。同社の原田秀雄社長は、かつてFIELD（旧・明治建物）という不動産会社を経営。クレディセゾン系の一部上場企業のバツクアップを受け、表参道の地上で注目され、NFKホールディングスに食い込んでいたことでも知られる。11年に破産したが、太陽光発電業者として甦り、栃木県那須烏山市で上海電力と共に開発に加わるなど、次々にメガソーラーを手がけている。

7月の住民集会には、ブルー社の兼田可取締役と平山秀雄取締役が潜入していたことが発覚。ブルー社に対する反発は強まるばかりだ。

ところが、地元を挙げての業者への包囲網が形成されたと思いつや、住民の間で仁科町長へいきだ。「不同意を貫く」と明言した仁科町長が、決して「反対」と言わないのも腑に落ちない。

「函南町は条例の制定も周辺市町村に比べて遅かった。これまで危ないメガソーラーが完成してしまう」（住民）。仁科町長への不信は募るばかりだ。

ブルー社に条例は適用しないとしているのだ。

「ブルー社は函南町軽井沢のメガソーラーに関して、18年10月31日に静岡県東部農林事務所に森林法に基づく林地開発申請を出しています。函南町はこれをもつて着手と考えられるので、条例は適用できないと言うんです」（地元住民）

同じ静岡県の伊東市は「着手」を「着工」と捉え、着工前なので条例はまだ適用可能と判断し、太陽光発電事業を条例違反であるとして業者名を公表、経済産業省に報告した。それに比べ、函南町の姿勢は明らかに後ろ向きだ。

「不同意を貫く」と明言した仁科町長が、決して「反対」と言わないのも腑に落ちない。

「函南町は条例の制定も周辺市町村に比べて遅かった。これまで危ないメガソーラーが完成してしまう」（住民）。仁科町長への不信は募るばかりだ。

■著者紹介 三枝玄太郎 ジャーナリスト

メガソーラー森林開発（伊豆日日新聞 2019年10月1日版）



メガソーラー「不同意」



中野博議長（右）、馬龍委員長（中央）から反対決議文を受け取る仁科町長
=函南町役場

反対決議は軽井沢メガソーラー建設計画検討委員会（魚籠正明委員長）が提出。[計画]では広大な森林等が採掘され、10万枚を超える太陽光パネルの設置が予定されている。周辺住民だけでなく柿沢川に対する運動や署名活動も展開されている。「町行政は

仁科町長に文書提出
「大変重く受け止める」

函南町議会

検討委員会

「環境、景観の悪化懸念」

建設反対決議を可決



伊豆日日新聞

伊豆の国市三橋191-1
〒410-2321
電話 0558(76)4760
FAX 0558(76)4725

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鏡田1290-6
電話 0557(36)1234

伊豆新聞ニュースサイト
<http://izu-np.co.jp/>



めざします 企業の繁栄と社会への貢献
一般社団法人 三島田方法人会

TEL 0555-975-4845
FAX 0555-976-0024

事前協議で「同意しない」とする審議結果を

自転車発電「疲れた」
温暖化防止活動学ぶ

伊豆熊坂小学校

奥地球温暖化防止活動推進センターと伊豆市は、各家庭で電気や水道などの使用量を測算する事前学習を行った。今後は家庭でアースキッズチャレンジのキックオフ・イベントを行う。5年生7人が「自動車燃費」ごとに別々に体験学習を通じ、地球温暖化や自分たちができるエコ活動について理解を深めた。

自転車発電は、ペダルを踏みながら利用して電気や豆電球やラジカセに送電する仕組み。発電したら30秒間も走らなければ、発電した。「疲れただった」と感想を話す児童たちに、「疲れた」と笑顔で喜び声が響いた。

事業者に通知。町議会は不意の意思表明を強く支持し、計画に断固反対するとした。閉会後、「仁科喜世志町長は反対決議文を提出した。仁科町長は、議会の決議で、大変重く受け止めると述べた。



メガソーラー反対決議案など可決（静岡新聞 2019年10月5日版）

函南町議会9月定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案など可決

函南町議会定例会

函南町議会9月定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案など可決

函南町議会定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

函南町議会定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

函南町議会定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

函南町議会定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

函南町議会定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

函南町議会定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

函南町議会定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

函南町議会定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

函南町議会9月定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決し、閉会した。委員会付託していた2018年度の決算案13件も認定した。

函南町議会9月定例会は4日、最終本議を開き、同町軽井沢のメガソーラー反対決議案などを可決

伊豆日日新聞
令和元年（2019年）10月21日（月曜日）日刊



台風19号被災
水駿道 川勝知事、現場を視察

「放水路いかに重要か」

豪雨続ければ狩野川危なかった

説明を受ける川勝知事中央、函南町丹那
破壊した鋼管送水管（管径90cm、長さ約50m）を前に職員の

伊豆半島に上陸し、猛烈な風雨で各地に大きな爪痕を残した台風19号の被災地を20日、川勝平太知事が視察した。熱海市と函南町の一部に大規模な断水被害をもたらした、県営駿豆水道の送水管が断壊。現場で取材に応じた川勝知事は「1958年の狩野川台風に匹敵の可能性」一とされた今回の19号の被害について、「幸いにして決壟は免れたが、もしももう一日、あのような豪雨が続ければ、狩野川も危なかつた」との認識を示した。

川勝知事は「かと云つて、一度と繰り返してほしい。狩野川水系がやられていないかといえば、そうではなく、各地で水害が起つた」とした上で、「いかに放水路が重要か、ということが、放水路は整備の方向に向けて、必要とするが、放水路は整備の方向に向けて、必要とすればやらなければいけない。狩野川台風の

川勝知事は「かと云つて、一度と繰り返してほしい。狩野川水系がやられていないかといえば、そうではなく、各地で水害が起つた」とした上で、「いかに放水路が重要か、ということが、放水路は整備の方向に向けて、必要とするが、放水路は整備の方向に向けて、必要とすればやらなければいけない。狩野川台風の

伊豆日日新聞
伊豆の国市三福191-1
〒410-2321
電話 0558(76)4760
FAX 0558(76)4725
伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話 0557(36)1234
伊豆新聞ニュースサイト
<http://izu-nd.co.jp/>

第○第一段ボール株式会社
本社 三島市三島町1-955-1
平塚工場 三島市成合12
○若狭・九五・五八・八九
包装の合理化 トータル「ストダウン」に役立つ
沼津 さらに県、場合によつては国と協力して、この地域が「水をうまく使つて、熱海、函南の都といわれる三島言われるようにしていきたい」と語った。

川勝知事
函南のメガソーラー計画
函南町鋸井沢地区で
計画される大規模太陽光発電施設（メガソーラー）について、川勝平太知事は20日、「基本的に反対。危機管理の観点からも、厳しい規制が必要だ。そのための権限を地域の安全にメガソーラーは大きな脅威となる」と語った。

川勝知事は「国にも働き掛け、森林や環境保護、地域住民の意向も考慮するべきである。行政機関が発揮できるよう、変わらないといけない」との考え方を示した。光地にメガソーラーは必ずしも良いとは言えない」と述べた。

豆は今世界のジオパレク。昔から有名な観光地には伊東や函南、河津も含め、利益本位で建



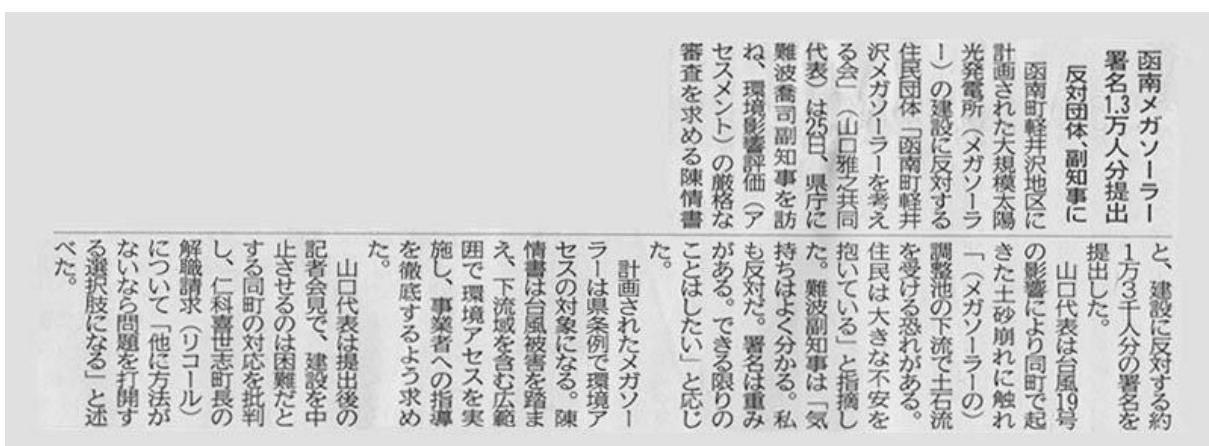
町民が建設予定地視察（伊豆日日新聞 2019年10月24日版）



反対署名1万3000人 考える会が知事宛て提出（静岡新聞 2019年10月26日版）



函南メガソーラー署名 1.3 万人分提出（伊豆日日新聞 2019 年 10 月 26 日版）



「町条例適用 審議を」（静岡新聞 2019年11月6日版）



中野博議長(右)に請願書を手渡す渡辺区長＝函南町役場

軽井沢メガソーラー計画

「町条例適用 審議を」

地元区 函南議会に請願書提出

函南町の軽井沢地区

で、都内の事業者が計

画を進める大規模太陽

光発電施設（メガソーラー）について、地元

の軽井沢区の渡辺一英

区長（49）とダイヤラン

ド区の吉原英文区長

（58）が5日、町議会に

対し連名の「請願書」

を提出した。建設阻止

に向けた町条例の適用

について町議会の審議

を求めた。

両区長は「町議会が

町長に軽井沢メガソーラー設置予定場所が抑

制区域内であるので、事業者に対し、10月1日施行の条例により、同発電設備設置は同意しないとする決定をすることを強く議決してほしい」と請願した。

両区は「議員が法律の専門家による条例の適応解釈をきちんと受けられる場を設ける他、町と議会と住民が話し合う場も設けてほしい」と話している。

浜松選抜が優勝

全国中学野球

伊豆で準決、決勝

り、優勝した。

準決勝は浜松が新潟

が水見市立北部中（富

山県）を5-3で下し

選抜を5-0、岩手

が永島中（宮城）

は最終回（5回）

生野球連盟主催・主

イン伊豆）日本中学

都道府県対抗野球大会

山県）を5-3で下し

選抜を5-0、岩手

が永島中（宮城）

は最終回（5回）
生野球連盟主催・主
伊豆志太スタジアム
で行われた。静岡県
代表の浜松選抜〇が決
勝で岩手選抜を破

面 8 伊豆 de そよぎて キノコ育て
審議記、いわいとしおさんコラム ほか

軽井沢区の反対意向賛同（静岡新聞 2019年11月8日版）



4462世帯分の署名を持参した鈴木会長（左から2人目）ら=函南町役場

軽井沢区の反対意向賛同

メガソーラー計画函南町大規模太陽光発電所（メガ）を巡り、町区長会は7

函南町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設計画を巡り、町区長会は7

日、計画に反対する軽井沢区の意向に賛同する署名4462世帯分を町に提出した。町は署名を県に届ける方針。

署名活動は9月から10月末まで軽井沢区を除く34区約1万世帯を対象に実施。「多くの町民が軽井沢区の反対に賛同している」と理解し、町として尽力してほしい」「国や県に対して町民の声を伝え、計画反対の要望を」との提言もまとめた。

町役場で鈴木昭男会長から署名を受け取った仁科喜世志町長は「台風の復旧作業もある中

でこれだけの署名を集めさせていただいた。しっかりと受け止めて対応する」と述べた。

同事業は山間地65haに太陽光パネル10万200枚を設置する計画。下流域には町立丹那小などがあり、地元住民らが反対運動を開いている。

【清水町】 ■第49回清水町芸術祭発表の部 10日9時45分～16時半、町地域交流センター（町内の34団体が会場、李瑞海奏、日本舞踊、ダンスなどの各部門に分かれ、日頃の練習の成果を披露する）

町区長会が反対に賛同（伊豆日日新聞 2019年11月8日版）

(1)

第13027号 (昭和58年3月22日第3種郵便物認可)

伊豆

函南・軽井沢
メガソーラー



仁科喜世志町長(左)に提言を手渡す鈴木区長会長
=函南町役場

函南町の軽井沢地区で、都内の事業者が計画を進める大規模太陽光発電施設（メガソーラー）について、町区長会は町全体の問題と捉え、地元・軽井沢区の反対の意向に賛同することを決定した。

7日、鈴木昭男区長会長（69）や区長会副会長の4人が町役場を訪れ、区長会の決定に賛同する町民世帯代表者の署名4462人分を添えて、同時に提言し

た。提言では①軽井沢地区の反対に対し、多くの町民が賛同していることを理解し、町も計画反対に向け力を尽くしてほしい②軽井沢区や署名した町民の民意に応えるため、国や県に町民の声を伝え、計画反対の要望をしてほしいと求めている。

区長会の提言に軽井沢区の渡辺一英区長（49）は「自分たちは町条例の適用を掲げ運動している。区長会でも運動を全面的に支援してほしい」と語った。

4462世帯の署名添え町に提言

町区長会が反対に賛同

(1)

第13033号 03H58年3月22日第3種



難波副知事に軽井沢メガソーラー事業への要望書を手渡す仁科町長（左）＝県庁（提供写真）

函南・軽井沢
メガソーラー

町の反対要望 県に提出

難波副知事「地域全体の意向大切」

函南町の仁科喜世志書を提出した。

要望書は「林地開発

許可時に付された15の

条件を順守するよう、

町長は議会も反対し、

町も不同意、反対で、

住民の意思も反対。現

状は「オール反対」の

中で進んでいる。ぜひ

も地域全体で反対の意

向を示していくことが

大切」などと答えた。

町長は13日、県庁を訪れて難波喬司副知事と面会した。仁科町長は、町区長会から提出された軽井沢メガソーラー計画に関する署名の写し（4462人分）を携えた上で、町の要望

書を提出した。要望書は「林地開発許可時に付された15の条件を順守するよう、事業者へ指導徹底を」「地域の実情に合った厳しい規制が必要で、その権限を地方自治体が発揮できるよう、国

への働き掛けを」——と求めた。その上で仁科町長は議会も反対し、「オール反対」の中で進んでいる。ぜひも地域全体で反対の意向を示していくことが大切」と述べた。

被害を踏まえ、治山治水の重要性も訴えた。これらに対し難波副知事は「知事も基本的に反対している。今後も地域全体で反対の意向を示していくことが大切」と答えた。

こうした状況に鑑みて、仁科町長は「お詫び申し上げます。この件について、改めて検討させていただきます」と述べた。

伊豆日日新聞編集部

不適切な事務処理 函南町が職員ら4人処分（伊豆日日新聞 2019年11月28日版）

不適切な事務処理	
函南町が職員ら4人処分	規則改正
函南町は27日、都市計画課の条例施行規則の一部改正に当たり、「不適切な事務処理があつた」として、担当職員と管理監督者らを懲戒処分にした。担当課の職員2人を戒告、監督管理の町幹部2人	すべきところ、同27日を決裁日として改正規則を告示していた。住民の指摘で分かった。「担当への指示が不明確で伝わっていなかつたため、起案日、決裁日を誤った」などと説明。今後の対応について「現在の規則を一度廃止し、新たに決裁を受け、事務手続きを確認の上で改めて告示を実施した」とした。
月30日以降を決裁日と	すべての規則改正を決裁日として改訂規則を告示していた。住民の指摘で分かった。「担当への指示が不明確で伝わっていなかつたため、起案日、決裁日を誤った」などと説明。今後の対応について「現在の規則を一度廃止し、新たに決裁を受け、事務手続きを確認の上で改めて告示を実施した」とした。
公務員の責務を肝に銘じて再発防止に努めることで語った。	すべきところ、同27日を決裁日として改訂規則を告示していた。住民の指摘で分かった。「担当への指示が不明確で伝わっていなかつたため、起案日、決裁日を誤った」などと説明。今後の対応について「現在の規則を一度廃止し、新たに決裁を受け、事務手続きを確認の上で改めて告示を実施した」とした。

丹那で町長と語る懇談会 メガソーラーに意見（伊豆日日新聞 2019年11月30日版）

函南町 丹那で町長と語る懇談会 メガソーラーに意見	
住民の声を町政に反映させる、まちづくりの小学校区単位で開かれた。計5回行い、28日深夜は丹那の農村環境と語ろう」が11月まで	改善センターで丹那小校区向けに実施した。地元区長ら代表が出席し、率直に発言した。軽井沢地区の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画に関する意見が相次ぎ、町の姿勢を厳しく批判するひと幕もあった。仁科町長は、メガソーラーをはじめ道路の補修や鳥獣被害の対応などを例に挙げつつ、「すぐできることと、長期的や組織的に考えていかないといけないこと、それぞれの意見、提言をしっかりと検証していく」と語った。同ブロック懇談会は函南、桑村、西、東、丹那小校区で開いた。
2ヵ月にわたり、町内	改善センターで丹那小校区向けに実施した。地元区長ら代表が出
ブロック懇談会「町長	席し、率直に発言した。軽井沢地区の大規模太
と語ろう」が11月まで	陽光発電所（メガソーラー）建設計画に関する意見が相次ぎ、町の姿勢を厳しく批判するひと幕もあった。仁科町長は、メガソーラーをはじめ道路の補修や鳥獣被害の対応などを例に挙げつつ、「すぐできることと、長期的や組織的に考えていかないといけないこと、それぞれの意見、提言をしっかりと検証していく」と語った。同ブロック懇談会は函南、桑村、西、東、丹那小校区で開いた。

「森を守れ」移住者からうねり

函南・別荘地近くのメガソーラー計画



渡辺憲章さん（手前）の案内でメガソーラー計画地を見る見学会参加者＝函南町軒井沢



メガソーラー建設を計画する山地周辺。ふもとの丹那盆地の広さとほぼ同じ面積に及び函南町、八木橋一男さんがドローンで撮影

計画に反対 地元を後押し

函南町の別荘地「南箱根ダイヤラン」の居住者が、地元で計画されているメガソーラーの反対運動に立ち上がった。都会から移住して来た人たちの「第2の古里」を守る熱意が、計画予定地の住民や声を上げてこなかった。11月16日、函南町の丹那盆地に連なる軒井沢地区の山中を20人ほどの男女が歩いた。参加者の中心は盆地の南側斜面に広がるダイヤラン地に住む人たち。案内するのは地元で生まれ育つ

渡辺憲章さん（64）だ。元県立田方農業高校長の渡辺憲章さんは、「大雨が降る時に太陽光パネル10万枚超を設置するメガソーラー（出力4万キロワット）を建設する計画をブルーキャピタル

同地区では約65㌶の山林一気に流れ下る」と伐採される森の位置と周囲の地形を示しながら説明した。森が失われれば雨は一気に流れ下る」と伐採される森の位置と周囲の地形を示しながら説明した。森が失われれば雨は

渡辺さんは業者からの土

マネジメント社（東京）が

進めている。この日は町内会組織の軒井沢区とダイヤ

ラン地区が共同で開いた初

の現地見学会だった。

渡辺さんは「大雨が降る

と沢から何日も水が流れ続

ける。森が失われれば雨は

一気に流れ下る」と伐採さ

れる森の位置と周囲の地形

を示しながら説明した。

とも真剣に考え始めてい

た」という今年6月、ダイ

ヤラン地区が「メガソーラー

反対」を表明。「頑張ろ

う勇気をもつた」。今

は反対運動の先頭に立つ。

南箱根ダイヤランは熱

海と函南を結ぶ熱線道路沿

いに1968年ごろから開

発された別荘地で広さは約

231万平方㍍、4200

㌶が町民として暮らす。

芸能人や作家ら著名人の別

荘があるが、近年は定住化

が進み、約一千世帯約2千

戸に2800棟が建つ。

軒井沢区でも7月21日に

集会を開いた。用地をめぐ

る利害があり、意見表示が

難しい状況だったが、渡辺

一英区長（49）は探検に踏み

切った。結果は圧倒的多数

で「反対」。区として反対

運動を進めることが決まっ

た。ダイヤラン地区と共に

集めた署名は1万3千を超

えた。

町議会は10月、メガソーラー建設反対を決議。町区長会も「軒井沢区の反対の意向に賛同」を決めた。計

続けてきた。しかし、周囲

では次々に買収や賃貸の契

約が進められ、反対する地

主は少数派になった。「二

のまま計画が進んでしまっ

たのか。この土地を離れるこ

とも真剣に考え始めてい

た」という今年6月、ダイ

ヤラン地区の直下には丹那小

学校と幼稚園がある。長女

（8）と次女（5）を通わせる

「子どもたちの命と未来を

守るのは大人たちの責任」

と呼びかける。10年に「こ

の土地で子育てをしてい

け」とIT会社役員の夫と共に

東京からダイヤラン地

に移り住んだ。

軒井沢区でも7月21日に

集会を開いた。用地をめぐ

る利害があり、意見表示が

難しい状況だったが、渡辺

一英区長（49）は探検に踏み

切った。結果は圧倒的多数

で「反対」。区として反対

運動を進めることが決まっ

た。ダイヤラン地区と共に

集めた署名は1万3千を超

えた。

町議会は10月、メガソーラー建設反対を決議。町区長会も「軒井沢区の反対の意向に賛同」を決めた。計

再生可能エネルギー推進の意見も想定したが、百人

を超える参加者はそつて

「反対」の意思を示した。

その場で区の総意として反

対を表明、署名活動の開始

が決まった。

「反対」の意見を示した。

マネジメント社（東京）が

進めている。この日は町内

会組織の軒井沢区とダイヤ

ラン地区が共同で開いた初

の現地見学会だった。

渡辺さんは業者からの土

地買取の働きかけを拒否し

た。

メガソーラー請願など付託 函南議会が開会（伊豆日日新聞 2019年12月3日版）

函南町議会12月定例会は2日開会し、会期を11日までとした。「函南町会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定」など条例3件と軽井沢のメガソーラー建設計画に関する請願書は委員会に付託した。一般質問を行い、3人が登壇した。
土屋学氏は田方農業高が2021年に創立120周年を迎えるに当たり、町としての連携や支援などについて

「見解を尋ねた。町は関係団体と協議して「いく」と答えた。台風19号における今後に向けた対応・対策について、『早い段階での広域避難について協議していく』と述べ、「災害が迫った時に、町民が早めの避難行動に結びつくよう広報や出前講座などを通して周知講座などを通して周知を図りたい」などと語った。

「条例改正考えていない」 軽井沢メガソーラーで町答弁（伊豆日日新聞 2019年12月5日版）

不同意の請願不採択（伊豆日日新聞 2019年12月7日版）

函南町議会
総務建設委員会

軽井沢メガソーラー建設

函南町の軽井沢地区で大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設が計画されている問題を受け、同町議会12月定例会は6日、町役場について審議し、賛成で採決される。

函南町の軽井沢地区で総務建設委員会（市川政明委員長）を開いた。地元軽井沢と、ダメヤラン্ডの区長らが計画している問題を強く議決してほしい」と条例により、発電設備設置は同意しないとする決定をする強く議決してほしい」と請願書は11月に提出した請願書は11日の本会議（最終日）で採決される。

少数で不採択とした。
請願書は「事業者に對し、10月1日施行の条例により、発電設備設置は同意しないとする決定をすることを強く議決してほしい」として採決される。

メガソーラー建設阻止（伊豆日日新聞 2019年12月14日版）

共産党函南町委員会の塚平育世委員長らはこのほど、町役場を訪れ、2020年度予算編成に向けた要望書を仁科喜世志町長に手渡した。

要望は100項目からなり、「医療・保険、福祉の充実」をはじめ子育て支援や台風19号を受けた防災対策、自然保護などを掲げた。具体的には「3歳児未満の保育料を近隣市町並みにし、第3子以降は年齢条件を付けずに無料に」「大きな環境変化をもたらす大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設阻止にあらゆる方策を」などと要望した。

道の駅、川の駅事業については、「町民の声を反映させ、在り方に對して再検討を」としている。塚平委員長は「町民の切実な要求を新年度予算に生かし、希望の持てる函南町にしてほしい」と述べた。

II函南町役場（提供写真）

(1)

第13064号 (昭和58年3月22日第3種郵便物認可)

函南・軽井沢
メガソーラー

「法令守り事業進めたい」

売電のトーエネック 地元住民と初の面会



函南町軽井沢地区に計画の大規模太陽光発電所（メガソーラー）を巡り、完成後、20年にわたって東京電力への売電事業に携わる中部電力子会社トーエネックの担当者らが16日、同町を訪れ、初めて地元住民らと面会した。辰巳義明・エネルギー事業部長は同計画について、行政や関係機関との調整、検討が必要との認識を示した上で「県の環境アセスメント（環境影響評価）適用案件でもあり時間はかかると思うが、法令を順守しながら、今後も事業を進めていきたい」と語り、計画推進の方針を強調した。

その一方で、当初計画されていた2020年3月の運用開始については、間に合わないとの見通しを示した。同計画の事業者はブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）で、トーエネック（名古屋市）は完成後、同社から譲り受けた上で売電事業を行う。敷地面積65ha、太陽光パネル10万200枚を設置し、出力は4万キロワット。住民への説明責任の観点から、地元が重ねてトーエネック社に面会を要望していた。出席した住民からはブルー社のこれまでのアプローチに対する率直な感想が多く寄せら

れ、「函南町の住民の命を守るために事業の撤退、中止を求める」といった声が挙がった。

メガソーラーの反対住民と面会（朝日新聞 2019年12月17日版）

函南町軽井沢地区のメガソーラー計画で16日、売電事業を予定している中部電力子会社のトーエネック（名古屋市）の担当者が軽井沢公民館で反対派住民と初めて面会した。住民側は事業の中止を求めた。

トーエネックは開発業者のブルーキャピタルマネジメント社（東京）が約65haの山林に太陽光パネル10万枚超を設置して建設するメガソーラー（出力4万キロワット）の完成後、発電施設を購入し東京電力に20年間にわたり売電する予定だ。

トーエネックは計画に対する軽井沢区、ダイヤランド区、函南町軽井沢メガソーラーを考える会（山口雅之代表）らの求めに応じ、辰巳義明エネルギー事業部長と担当者が住民代表に会った。軽井沢区の渡辺一英区長（49）は「森が失われれば土砂災害に襲われる、ここで生きていけない。事業を中止し撤退して欲しい」と求めた。辰巳部長は「法令を順守し、環境アセスメントで客観的判断を得て皆さんの不安を払拭したい」と事業を進める姿勢を示した。（岡田和彦）

函南のメガソーラー計画　伊豆の国市長が反対を明言（朝日新聞 2019年12月20日版）

伊豆の国市の小野登志子市長は19日、隣接する函南町の軽井沢地区で計画されているメガソーラーについて、「反対」を明言した。建設に伴う森林破壊で水害の危険性が増すことを理由にあげている。

た。小野市長は2本目の放水路の必要性を語るなど強い危機感を示している。「森林が破壊され水害の危険性が増すことを危惧している」。小野市長は、今後、共に柿沢川治水組合の顧問を務める函南町の仁科喜世志町長と協議していく。

考えを示し、「河口の沼津市から上流まで、狩野川流域治水計画に積極的に参加して欲しい」と話した。

建設計画では、開発業者のブルーキャピタルマネジメント社（東京）が約65haの山林に太陽光パネル10万枚超を設置予定（出力4万キロワット）。完成後、中部電力子会社のトーエネック（名古屋市）が20年間、東京電力に売電する。（岡田和彦）

SBS ニュース「市民団体 函南町長らを県警に告発」(SBS テレビ 2019 年 12 月 20 日放送)



メガソーラーで函南町長を告発（朝日新聞 2019年12月21日版）

た。国保料引き下げを求める請願など4件は不採択となつた。
(阿久沢悦子)

函南町長を告発
虚偽の日付文書掲示

メガソーラーで
函南町の轟井沢地区で計画されているメガソーラーをめぐり町が虚偽の日付を記載した文書を掲示したとして、「函南町轟井沢メガソーラーを考える会」の山口雅之・共同代表ら4人が20日、仁科喜世志町長ら5人の処罰を求めて県警に告発状を提出した。

告発されたのは町長のほか、副町長、建設経済部長、都市計画課長、同課長補佐の計5人。告発状では、5人がメガソーラーの設置について定めた町の条例改正について、さかのぼった日付の文書を作成して決裁し、役場に掲示したことが、虚偽公文書作成・同行使にあたると訴えている。山口氏らが8月30日に、ホームページ上の条例に関する内容の誤りを指摘したこと、同月27日付の文書が掲示されたという。山口氏らは会見で、「(文書の誤りについて)理由の説明を求めたところ突然、町長を除く4人とみられる懲戒処分があった。このままでは私たちの知らないところで町民の権利が侵害されかねない」と話した。同町は「内容を把握していないためコメントは控える」としている。(高川純二)

太陽光発電反対派 函南町長らを告発（静岡新聞 2019年12月21日版）

太陽光発電反対派
函南町長らを告発
虚偽公文書作成疑い

条例施行規則の改正
に関して、虚偽の起案日
や決算日などを記載し
た公文書を作成したな
どとして、函南町の住
民が20日、虚偽公文書
作成・同行使の疑いで
仁科嘉世志町長や担当
職員ら計5人に対する
告発状を県警に提出し
た。

告発したのは、同町
軽井沢区の大規模太
陽光発電所（メガソーラー）建設計画に反対
する「軽井沢メガソーラーを考える会」の山
口雅之共同代表ら4
人。

告発状によると、5
人はメガソーラー建
設を規制する条例の
施行規則を改正する
際、9月中旬以降に
起案や決裁などを行つ
たにもかかわらず、文
書の日付欄に「8月27
日」と虚偽記載したと
される。

県庁で記者会見した
山口共同代表は「行政
に対する信頼を根底が
揺るがす事案」と述
べた。



「町民の権利侵害 真相究明求む」

記者会見を開き警察への告発状提出について
説明する山口代表（中央）ら一県庁

告発人は仁科喜世志町長、佐野章夫副町長、町建設経済部の前川修部長、江田朝夫都市計画課長、野沢和宏課長補佐の3人。理由については、10月1日施行の町自然環境再生可能エネルギー調和条例一部改正の際、決裁年月日を記載した虚偽内容を記載した虚偽公文書である決裁文書を作成する。

函南町軽井沢地区に計画されている大規模太陽光発電所（メガソーラー）を巡り、問題を追及している町軽井沢メガソーラーを考える会（山口雅之代表）は20日、県警に対し虚偽公文書作成・同行使の疑いで告発状を提出した。

告発状によると、被

成。さらに仁科町長についても、町長欄に自己紹介として「町長欄に自己紹介として町役場1階玄関前掲示板に掲示し、虚偽公文書2通を作成し、行使した」としている。告発人は山口代表、地元軽井沢・ダイヤランド区長ら4人。住民らと共に農戸で意見交換を行った山口代表は、「このままでは私たちの知らない所で町民の権利が侵害されかねない。警察に真相を説明してもらいたい」と語り、町がこれまでにこの件についても不信感を示した。告発に対し町は「詳細を把握していないのでコメントはできない」とした。

軽井沢メガソーラーを考える会

函南町長らを告発

虚偽公文書の作成・行使疑い



伊豆日日新聞

伊豆の国市三福191-1
〒410-2321

電話 0558(76)4760

FAX 0558(76)4725

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話 0557(36)1234

伊豆新聞ニュースサイト
<http://izu-np.co.jp/>

めざします 企業の繁栄と社会への貢献
一般社団法人 三島田方法人会
会員 平井 駿雄
TEL 055-975-4845
FAX 055-976-0024

函南の太陽光に沼津市長が懸念（朝日新聞 2019年12月26日版）

函南の太陽光に
沼津市長が懸念
町長に協議求める考え方

予定地は狩野川の支流柿沢川の最上流に位置する。沼津市中心部を流れる狩野川は10月の台風19号で、放水路を開放したが一時、氾濫危険水位に達した。市内では、狩野川への排水ができないようなるなどして住宅が多いメガソーラーについて、沼津市の頼重秀一市長は25日の定例会見で、函南町の軒井沢地区で計画されているメガソーラーについて、「懸念」を表明した。狩野川の治水や駿河湾の環境への影響について函南町の仁科喜世志町長に協議を求められた。

対策を呼びかけている。山間部の森林の育成が海の環境に多大な影響を与える。町長に考えを聞きたい」と述べた。
(岡田和彦)



メガソーラー計画について住民の質問に回答した
トーエネックの担当者（右3人）＝函南町

売電企業が住民と面談

函南・メガソーラー質問に回答「理解得たい」

函南町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画で、売電事業を行う中部電力子会社トーエネック（名古屋市）の担当者が24日、同町を訪れて

ない住民の土地が含まれていた理由など、昨年12月に住民グループが寄せた質問に回答した。

報道陣に公開されたのは冒頭のみ。住民グループは開発事業者との契約書に同意のない土地の売買契約で合意を「ミスだった」という

趣旨の回答を寄せた。

地元区長が署名した「協議の合意書」を開発を認めたかのように扱い、同申請で目的外に利用したことについても、「法令に基づく行為」との見解を示した。

という。

住民側から「たとえ

法律的に可能でも、地

元の反対を押し切つて

とは言えない」と述べた。

明は正確性に欠け、抽象的。誠実な回答

とは言えない」と述べた。

のでは」と説明した。

た。県への林地開発

許可申請で住民だけの

会議を「事業説明会」

として報告した点は、

よう約束してほしい」と要望が上がり、同社

（三島支局・金野真仁）

メガソーラーで法令違反を否定（朝日新聞 2020年1月25日版）

メガソーラーで 法令違反を否定

函南 住民と事業者交渉

函南町軽井沢地区のメガソーラー計画で24日、売電事業を予定している中部電力子会社のトーエネック（名古屋市）が反対派住民と2回目の交渉をした。辰巳義明エネルギー事業部長らが計画に反対する軽井沢区、函南町軽井沢メガソーラーを考える会（山口雅之代表）らに昨年12月の初回合で住民側が指摘した法令違反の疑いなどについて説明した。会合は非公開で行われた。参加者によると、トーエネック側は県に提出した書類の誤りなどは認めだが、法令違反にはあたらないと主張。住民側は

反対が広がる中で事業を強行しないよう求めたという。会合後、辰巳部長は取材に応じ、「法令を順守し、住民の意見を聞き、安全対策を講じて進めていきたい」と事業推進の姿勢を示した。

トーエネックは開発業者のブルーキャピタルマネジメント社（東京）が約65㌶の山林に太陽光パネル10万枚超を設置して建設するメガソーラー（出力4万キロワット）の完成後、発電施設を購入し東京電力に20年間にわたり売電する予定だ。

（岡田和彦）

売電事業者、住民と面会（伊豆日日新聞 2020年1月25日版）

売電事業者、住民と面会

函南・軽井沢メガソーラー

函南町軽井沢地区に計画の大規模太陽光発電所（メガソーラー）を巡り、完成後、20年にわたって東京電力への住民らと面会した。



地元住民と面会する辰巳部長（右から2人目）らトーエネック関係者＝函南町の軽井沢公民館

辰巳義明・エネルギー事業部長は、昨年12月の初会合時に語った事業推進意向を重ねて示す一方で「今後、住民に対し進捗（しんちょく）に応じて説明会の開催などを適切に実施していく」と明かした。計画事業者のブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）については「早い段階で説明会の開催をするよう、要請する」とした。地元側は約1万4千人の反対署名などに触れ「許可を得ても、環境アセスが終わろうとも、住民の不安が大きい中では工事を強行すべきでない」「町条例が法的に適用可能かどうか、社としてもよく調べるべきだ」などと述べ、回答を求めた。

「建設阻止の目標は同じ」函南メガソーラー仁科町長明言（伊豆日日新聞 2020年2月11日版）

「建設阻止の目標は同じ」	
函南メガソーラー	仁科町長明言
函南町軽井沢地区に 大規模太陽光発電所 (メガソーラー)が計 画されているのを受 け、地元の軽井沢区渡 辺一英(区長)、ダイヤ ランド区(吉原英文区 長)は10日、町役場で 仁科喜世志(町長、担当 職員らと面会し、メガ ソーラー建設計画に対 する仁科町長の「正直 な考え方」を求める質問 書と要要求書を提出し た。	は、県に情報公開請求 を行った結果を基に、 2019年7月8日付 で県が林地開発許可決 定を行うまでの経緯に ついて確認を求めた。 先立つ当時から『不許 可』にしてもいいたい」と と考えていた。メガソ ーラー建設阻止という 言したが、同会は「提 出書類の内容とは食い 違いや矛盾点があり、 真逆だ」と問題視した。
面会の中で、軽井沢 メガソーラーを考える 会の山口雅之(共同代表)	は、県に情報公開請求 を行った結果を基に、 2019年7月8日付 で県が林地開発許可決 定を行うまでの経緯に ついて確認を求めた。 先立つ当時から『不許 可』にしてもいいたい」と と考えていた。メガソ ーラー建設阻止という 言したが、同会は「提 出書類の内容とは食い 違いや矛盾点があり、 真逆だ」と問題視した。

潮 時	
伊東	満潮 6:51 17:59
石廊崎	干潮 0:04 12:17
内浦	満潮 7:20 18:39
伊東	干潮 0:38 12:55
石廊崎	満潮 7:22 18:48
内浦	干潮 0:41 13:04
伊東	満潮 7:20 18:47
石廊崎	干潮 0:41 12:57

メガソーラー 町長が反対意思 函南町民らに示す（朝日新聞 2020年2月11日版）

メガソーラー 町長が反対意思 函南町民らに示す

函南町の仁科喜世志町長は10日、同町軽井沢地区のメガソーラー計画に反対する住民らに「山頂に登るという目標は同じ」と述べ、計画阻止を目指す考えを示した。反対運動の中心になっている軽井沢、ダイヤランド両区長や函南町軽井沢メガソーラーを考える会の山口雅之代表らが町役場で山口代表が県の情報公開制度で入手した林地開発許可に関連した文書に「(町長は開発業者の)林地開発許可申請を不許可にしてほしいということではない」と記されていたため真意を問うた。町長は反対運動についても「目に見える形で直接行動してもらっていることに感謝している」とも述べた。

(岡田和彦)

メガソーラー建設反対住民

条例適用求め町に質問状

函 南

函南町軽井沢の大規模太陽光発電施設（メガソーラー）建設計画に反対する同地区と近隣のダイヤランドの両区長らは10日、町長の同意なしに発電設備の設置や発電事業を行えないとして定めた町条例について「適用は困難」とする町に対し、理由などを尋ねる質問書を提出した。町は事業者が昨年10月の条例施行前に県への林地開発許可申請を済ませているため「条例の適用（そきゅう）は法的にも問題ない」とし、売電事業者も適用は困難との考え方。一方の区長らは「適用は困難」として計画に不同意の姿勢を貫く」と述べた。

この質問書に対する回答は、函南町長は、住民グループの反対運動を「感謝している」とし、質問状には「文書で回答する」と述べた。

最新情報は下記のウェブサイトをご覧ください。

→ <https://dialand.jp>